| 令和６年度第２回松本医療圏地域医療構想調整会議 | 資料１ |
| --- | --- |
| 令和７年２月１０日 | |

# 地域医療構想の推進について

# 今後の進め方について

## 議論の進め方

○　医療機関間の更なる役割分担と連携を進めるため、医療提供体制の「グランドデザイン」を念頭に置き、圏域における議論を実施。

○　地域の医療関係者が医療の取り巻く現状を適切に把握し、議論の活性化がなされるよう、県よりデータ分析結果を提示。

- ☞　県、委託事業者（株式会社日本経営）、産業医科大学の三者によるデータ分析体制を新たに構築。
- ☞　レセプトデータ等を活用し、現状の医療提供体制及び将来の医療需要等の詳細分析（＝地区診断）を実施。
- ☞　12月以降を目途に分析結果を各圏域に提供し、地域の実情を踏まえた議論を推進。

○　圏域における議論を踏まえ、必要に応じ、策定した各医療機関の対応方針の見直しを行うとともに、圏域内で共有。　※令和6年7月に、昨年度策定いただいた対応方針の更新方法について依頼。

☞対応方針の見直し内容に応じ、調整会議の場での説明を依頼。

## ＜イメージ＞

### 【圏域における議論】

- ➢　関係者間において、圏域における状況を共有し、課題等を議論
- ➢　県から議論に資するデータを提示し、議論の活性化

圏域における状況を共有

医療ニーズの変化に応じ、各医療機関の方針を考えていく（サイクルを回す）

各医療機関の方針を共有

### 【各医療機関の方針】

- ➢　圏域における状況を踏まえ、必要に応じて対応方針の見直しを行う
- ➢　機能の見直しや強化に関しては、県からの補助金等で支援

# 令和６年度 病院機能再編・連携強化支援事業（県のデータ分析体制の強化、医療提供状況等分析）の概要

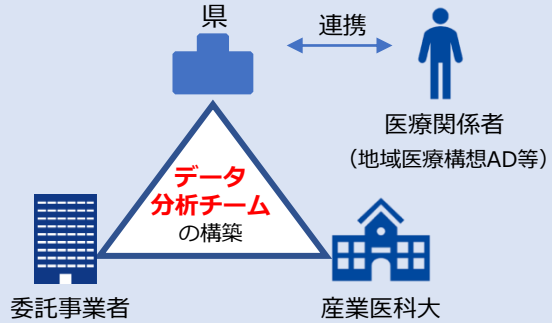
## １．目的

医療提供体制の「グランドデザイン」に基づき、医療機関間の更なる役割分担と連携を推進するとともに、地域の医療関係者等が県内の医療を取り巻く現状を適切に把握することができるよう、県のデータ分析体制の強化を図り、県内の医療提供状況等の分析を行う。

## ２．事業内容

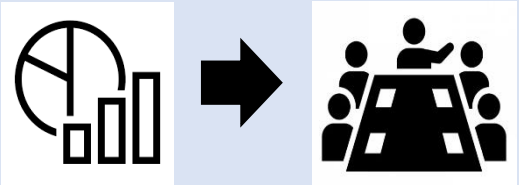
### 1 データ分析体制の構築

- 県、委託事業者（株式会社日本経営）、産業医科大学の三者によるデータ分析チームを新たに構築し、地域医療構想アドバイザー等の医療関係者と連携することで、効果的かつ持続的にデータ分析が行える体制を整備。




### 2 県内の医療提供状況等の分析

- データ分析チームにより、レセプトデータ等を活用して、県内の10医療圏ごとに、現状の医療提供体制及び将来の医療需要等の詳細分析（＝地区診断）を実施。
- 分析結果を圏域別調整会議に提供し、地域の実情を踏まえた議論を推進。



10医療圏毎に行った地区診断の結果を調整会議に提供し、議論を活性化

### 3 研修会の開催

- 地域の医療ニーズを踏まえた機能再編や連携強化への取組の増加に資するよう、県内病院等を対象にした研修会（オンライン形式）を開催。

【研修会で紹介する内容】
- 県内の医療提供体制の状況
- 国及び県の医療政策の動向
- 医療機関が活用できる支援策
- 他の都道府県で行われた機能再編等の優良事例　等

## ３．スケジュール（案）

| | R６．７月～９月 | R６．10月～12月 | R７．１月～３月 |
|---|---|---|---|
| 1 | データ分析チームの構築 | | |
| 2 | | 県内の医療提供状況等の分析 | 圏域調整会議に分析結果を提供 |
| 3 | | 研修会（12月） | |

# 医療提供体制の「グランドデザイン」の概要

○　医療ニーズが変化し、医療サービスの担い手の減少が加速化していく2040年を含む中長期を見据え、限られた医療資源を最大限有効に活用する観点から、入院・在宅・外来医療体制について、医療機関間の更なる役割分担と連携を推進。

**【入院医療体制】**

「地域型病院」と「広域型病院」による役割分担と連携を推進。

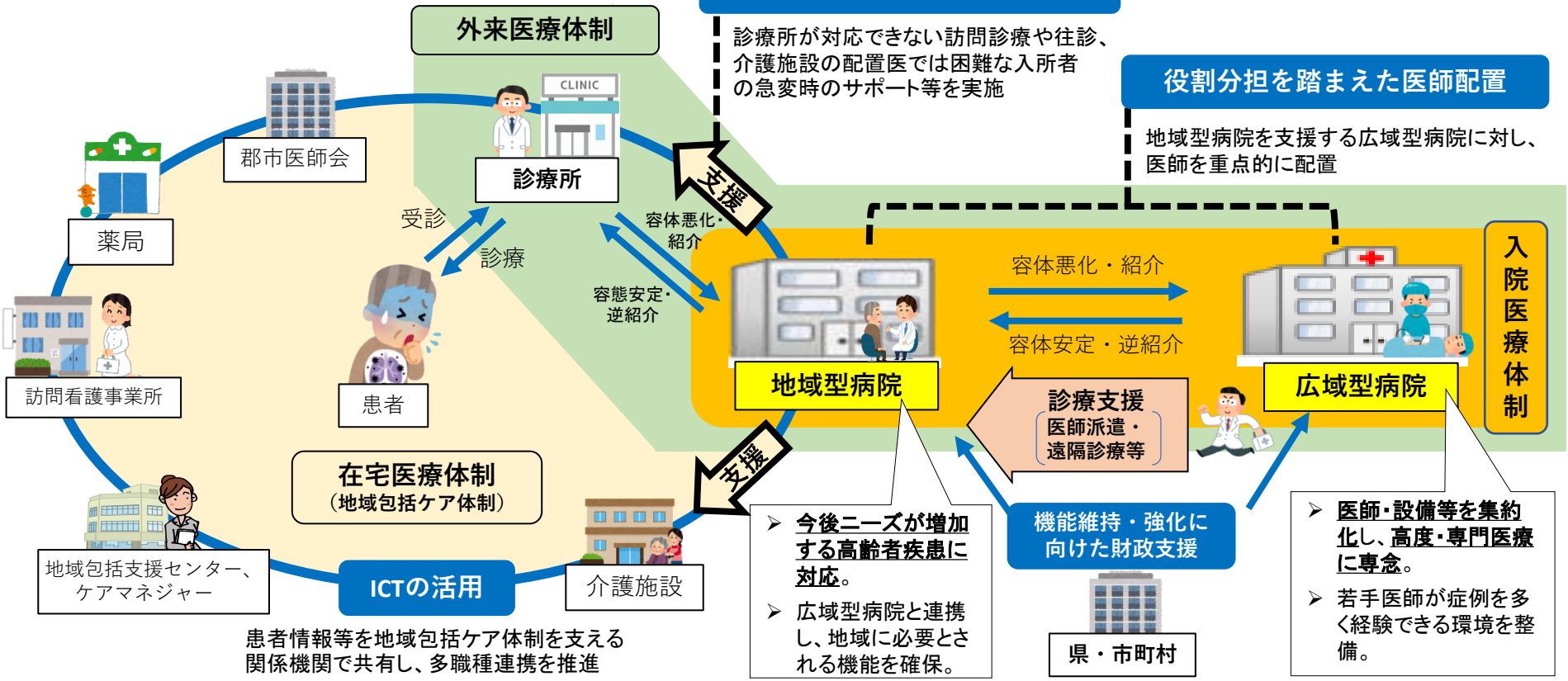
**【在宅医療体制】**

「地域型病院」を中心にした連携体制を強化するとともに、ＩＣＴを活用した患者情報等を共有する取組を積極的に推進。

**【外来医療体制】**

「かかりつけ医機能を担う医療機関（診療所、地域型病院）」を明確化するとともに、それらと「紹介患者を中心に診る医療機関（広域型病院）」による役割分担と連携を推進。

## 目指すべき医療提供体制



# 本県における今後の地域医療構想の進め方　スケジュール（案）

| | 令和6年度 | | | 令和7年度 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 7月～9月 | 10月～12月 | 1月～3月 | 4月～6月 | 7月～9月 | 10月～12月 | 1月～3月 |
| 圏域別調整会議 | 第1回 | | 第2回 | 必要に応じて開催 | 第1回 | 必要に応じて開催 | 第2回 |
| | 1．次期地域医療構想を見据えた議論【令和8年度からの策定開始を見据えた議論】<br>2．圏域ごとの2025年以降も見据えた医療提供体制の課題や状況について議論【継続的に議論】 | | | | | | |
| 医療情勢等連絡会 | 必要に応じて随時開催 | | | | | | |
| 県単位での関係会議等 | | | 2040年を見据えた構想区域の在り方等について懇談会設置を検討 | 2040年を見据えた構想区域の在り方等について懇談会を開催 | | | |

## ■　圏域別調整会議の議題（案）　※地域医療構想に関する議題のみ

**【令和6年度第1回】**

- 構想区域全体の2025年以降も見据えた医療提供体制の議論（検証）について
- 区域対応方針の策定について（推進区域の場合）　等

**【令和6年度第2回】**

- 構想区域全体の2025年以降も見据えた医療提供体制の（議論）検証について
  ⇒地域の見える化として、データ分析事業による地区診断結果を提示
- 区域対応方針の策定について（推進区域の場合）　等

**【令和7年度第1回】**

- 2040年を見据えた次期地域医療構想について（国の検討状況を見据えつつ内容を設定）
  ⇒R7年度末に、策定ガイドラインが示される見込み。
- 圏域ごとの医療提供体制における課題や状況について　等

【参考（Ｒ６時点）】

# 各医療機関の今後の方針（対応方針）について

※圏域における議論等を踏まえ、必要に応じ、随時見直しを行っていく。

# 対応方針　－　今後の圏域における役割の意向と具体的な今後の方針　1/4　－　（松本医療圏）

○　各医療機関の今後の役割の意向と具体的な今後の方針は以下のとおり。

【凡例：今後の圏域における役割の意向】
①：重症の救急患者への対応や手術など、高度・専門医療を中心とした急性期医療を担う医療機関
②：救急患者の初期対応や比較的症状が軽い患者に対する急性期医療を担う医療機関
③：在宅や介護施設等で急性増悪した患者（サブアキュート）や、急性期経過後に引き続き入院医療を要する患者（ポストアキュート）の受入機能を担う地域包括ケアの拠点となる医療機関
④：回復期リハビリテーション医療を提供する医療機関
⑤：長期にわたり療養が必要な患者（重度の障がい者（児）を含む）に対する入院医療を担う医療機関
⑥：特定の診療に特化した役割を担う医療機関（例：産婦人科、精神科 等）
⑦：かかりつけ医としての役割や在宅医療における中心的な役割を担う医療機関

| 医療機関名 | 病診区分 | 今後の圏域における役割の意向（◎は主たる役割） | | | | | | | 具体的な今後の方針 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | ①<br>高度・専門 | ②<br>軽症急性期 | ③<br>地ケア | ④<br>回リハ | ⑤<br>長期療養 | ⑥<br>特定診療 | ⑦<br>かかりつけ | |
| 信州大学医学部附属病院 | 病院 | ◎ | | | | | ○ | | 県内全域から高難度手術症例や重症患者の受け入れを進め、同時に、高度救命救急センターとしての機能を果たすべく、緊急手術の患者受け入れを積極的に行う。眼科系・耳鼻咽喉系・内分泌系疾患等の専門性の高い患者も引き続き全県から患者を受け入れる。循環器系の重症患者及び術後ICU管理が必要な患者の増加が見込まれており、令和6年度までの病棟改修にあわせ、現在14床のHCUを16床に増床した。診療・教育・研究を遂行する大学病院としての使命を果たすため、これらの方向性に変更はない。 |
| 社会医療法人財団慈泉会相澤病院 | 病院 | ◎ | ○ | | ○ | | | | 救急、高度・急性期医療を提供する基幹型病院としての機能をより強化する。<br>□がん患者は松本医療圏を越える広域圏からも患者を集約し、早期診断・治療を可能とするため、手術室の増設を実施する。<br>□これまでの救急医療に加え、さらなる重症患者の受入・管理機能を強化するため、集中ケア病棟（ECU・HCU）の改修とともに、HCUの増床を実施する。<br>□今後、増加が予想される不整脈治療や緊急手術に対応するため、専門医の確保と血管内治療機能の充実をはかる。<br>□患者負担の少ない経鼻・鎮静内視鏡を拡大するため、内視鏡センターの改修を実施する。<br>□低侵襲手術、日帰り手術の導入・拡大により、早期退院及び入院→外来への移行により、病床を有効活用する。<br>□一般外来は、紹介を中心とした専門外来の充実と逆紹介を推進する。 |
| 独立行政法人国立病院機構まつもと医療センター | 病院 | ◎ | ○ | ○ | | ○ | ○ | | ・　救急患者の積極的な受入を行い、引き続き地域の急性期医療を担うとともに、地域医療支援病院として紹介・逆紹介を推進し、さらに令和4年度より制度が新設された「紹介受診重点医療機関」に求められる機能の充実を図っていく。併せて、在宅療養後方支援病院として地域でのチーム医療に貢献していく。<br>・　重心・神経難病・結核等のセーフティネット医療の提供を引き続き推進するとともに、さらに、高齢化に伴う保護者及び介護者の介護負担を軽減するため、レスパイト入院等の需要を満たせるよう対応していく。<br>・　がん診療・血液疾患・小児疾患・神経疾患・呼吸器疾患・骨運動器疾患・リハビリテーション等の専門領域の医療についても、機能を充実させ継続して提供していく。 |
| 安曇野赤十字病院 | 病院 | ◎ | ○ | ○ | ○ | | | | 今回の新型コロナウイルス感染症の経験を踏まえて、新興感染症の流行に備えた病床数の確保、地域の救急患者の受入及び災害時の傷病者の受入体制を強化する。 |

# 対応方針　ー　今後の圏域における役割の意向と具体的な今後の方針　2/4　ー　（松本医療圏）

○　各医療機関の今後の役割の意向と具体的な今後の方針は以下のとおり。

| 医療機関名 | 病診区分 | 今後の圏域における役割の意向（◎は主たる役割） | | | | | | | 具体的な今後の方針 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | ①<br>高度・専門 | ②<br>軽症急性期 | ③<br>地ケア | ④<br>回リハ | ⑤<br>長期療養 | ⑥<br>特定診療 | ⑦<br>かかりつけ | |
| 松本協立病院 | 病院 | ◎ | ○ | ○ | | | | ○ | ・2024年度以降、地域の医療情勢や診療報酬制度の動向をみつつ、急性期病棟の一部を回復期または慢性期病床に転換することも検討しながら、地域の慢性期医療や退院後の在宅医療をさらに幅広く担っていく。<br>・同時にかかりつけ医としての役割や、救急患者の受け入れも分担している今の機能を継続していく。 |
| 社会医療法人抱生会丸の内病院 | 病院 | | ○ | ○ | ○ | | ◎ | ○ | 多数の入院、手術を行う整形外科、お産を扱う産婦人科、慢性期の心不全患者、リウマチ、在宅診療、がん治療緩和ケア治療を行う予定です。整形外科は人工関節置換術、脊椎手術、肩関節、手の手術と長野県でも有数の患者を扱っており、継続して行く予定です。また当番日輪番制に引き続き参加し、救急患者を診察します。当院はリハビリテーションが充実しており、リハビリも力を入れていく予定です。 |
| 松本市立病院 | 病院 | | ○ | ◎ | ○ | | | ○ | 令和9（2027）年度末に開院予定の新病院（174床：感染症病床6床除く）では、松本西部地域の一般急性期医療を維持しつつ、松本医療圏で地域包括ケアの拠点としての役割を果たすことをより明確にするため、回復期機能を強化し、急性期病床79床（感染症病床6床除く）、回復期病床95床（回復期リハビリテーション病棟及び地域包括ケア病棟）とする計画である。<br>なお、現在策定中の松本市立病院経営強化プランでは、圏域の医療需要等に鑑み、令和8（2026）年度を目途に、新病院開院より前倒しで回復期機能の強化を予定している。 |
| 桔梗ケ原病院 | 病院 | | ○ | ◎ | ○ | ○ | | ○ | 今後は現場の人員補強および教育の充実を行い、地域からの救急患者（サブアキュート）の対応すること病院のベッド稼働率の改善に寄与するものと考える。 |
| 城西病院 | 病院 | | ○ | ○ | ◎ | ○ | ○ | ○ | ・一般科：回復期、療養、在宅療養支援に向けたリハビリテーションの充実<br>・精神科：救急、一般、療養の充実、社会復帰施設等を利用した支援 |
| 医療法人仁雄会穂高病院 | 病院 | | ◎ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 現状の当院の機能は、地域のニーズに即していると考えている。現機能の充実を図り、<br>地域の皆さんが一生涯を通じて通院も入院もできる頼れるかかりつけ医として医療サービスの提供をしていきたい。 |
| 塩尻協立病院 | 病院 | | ○ | ◎ | | ○ | | ○ | 現行の当院の役割は地域から求められているものであると考えており、継続していく。 |
| 医療法人心泉会上條記念病院 | 病院 | | | ○ | | ◎ | | ○ | 現状の地域包括ケア病棟（サブアキュート、ポストアキュート）、医療療養病棟（難病等の医療依存度の高い患者）、介護医療院（要介護者の高い方）の受入機能を維持し、地域の医療ニーズに変化が生じた場合、病床数の変更で対応してまいります。 |
| 松本中川病院 | 病院 | | ◎ | ○ | ○ | | | ○ | 糖尿病においては新しい治療を取り入れ運動療法を基本とし、新薬も取り入れ、また注射治療の方においては24時間グルコースモニターも開始しており、よりよい血糖コントロールを目指しています。合併症においては脳疾患、心疾患においては他病院等と連携し、最近では他病院循環器科と連携し血管病変については、特に下肢における下肢の壊疽に対応して行きたいと思っており、現在血管病変の循環器専門医の非常勤として採用しております。糖尿病の「腎症重症化予防」にも糖尿病専門医(2名)や管理栄養士等とも協力し、透析医療にも力を入れて取り組んでいます。オンラインHDも可能となっております。<br>さらに、眼科も含め総合的な糖尿病の診療体制を行っております。今後さらにスタッフ等も補充して充実化を図っていきます。 |
| 一之瀬脳神経外科病院 | 病院 | ◎ | ○ | | ○ | | ○ | | 脳卒中や認知症をはじめとする脳疾患全般に対して、超急性期から回復期、在宅復帰後も含め患者をサポートしていきます。24時間365日患者を受け入れ、血栓回収療法を含めた脳血管内治療や開頭術を行える体制を維持します。<br>早期からのリハビリ介入・回復期病棟でのシームレスなリハビリを継続し、在宅復帰率95%以上を目標としています。 |

# 対応方針　－　今後の圏域における役割の意向と具体的な今後の方針　3/4　－　（松本医療圏）

○　各医療機関の今後の役割の意向と具体的な今後の方針は以下のとおり。

| 医療機関名 | 病診区分 | 今後の圏域における役割の意向（◎は主たる役割） | | | | | | | 具体的な今後の方針 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | ①<br>高度・専門 | ②<br>軽症急性期 | ③<br>地ケア | ④<br>回リハ | ⑤<br>長期療養 | ⑥<br>特定診療 | ⑦<br>かかりつけ | |
| 藤森病院 | 病院 | | ◎ | ○ | | | | ○ | 地域のかかりつけ病院として健診から看取りまで患者さんを診療し、軽症救急患者さんの急性期医療を担っていく。 |
| 医療法人元山会中村病院 | 病院 | | | ◎ | | | | ○ | 法人内の介護施設と密な連携を図るとともに地域のケアマネージャー、各病院の地域連携室等との連携体制を強化することにより、当該地区の地域包括ケアシステムの中核を担うことを目指す |
| 社会医療法人財団慈泉会相澤東病院 | 病院 | | ○ | ◎ | ○ | | | ○ | 現在も近隣の居宅事業所、訪問看護ステーションとの連携会議を行っていますが、より地域の医療・福祉の関係者からの意見・要望を伺って在宅療養支援病院として当該地域の中心的な役割を担って行きたい。 |
| 塩尻病院 | 病院 | | ◎ | ○ | | | | ○ | ・2022年に地域包括ケア病床を20床から27床へと拡大し、地域の医療を支える病院として、引き続き、整形外科疾患や外傷、軽症の救急医療の受入等の機能を発揮していきたい。<br>・また、新たに内科の医師が着任し訪問診療を開始。地域のニーズに対応出来るよう、在宅医療にも今後さらに力を入れていきます。 |
| 医療法人和心会松南病院 | 病院 | | ○ | ○ | | | ◎ | | 精神科救急及び児童思春期の対応<br>内科病棟では長期治療が必要な人への入院治療 |
| 松本歯科大学病院 | 病院 | | ○ | | | | ◎ | | 当病院は顎顔面領域、歯科疾患に特化した急性期病院であり、他の医科病院では扱うことの難しい症例を受け入れている。今後も長野県全体を対象として、今までと同様に、歯科大学の附属病院に求められている社会的役割を果たしていく。<br>また、将来的には歯科のない病院における周術期口腔機能管理等を実践していきたいと考えている。 |
| 神應透析クリニック | 診療所 | ○ | | | ○ | | ◎ | ○ | 血液維持透析患者の維持透析を継続する。バスキュラーアクセスの作製、修復、管理などを継続する。血液透析に関わる専門的な治療を中心に行っていく。自院通院中の透析患者で肺炎などクリニックで管理できる状態の患者であれば、治療していく。廃用リハビリテーションを中心としたリハビリテーションをすすめていく。 |
| 肛門外科渡辺医院 | 診療所 | | | | | | ◎ | | 現状維持 |
| 柏原クリニック | 診療所 | | | | | | | ◎ | 近隣地域の医療施設とのの連携により、循環器疾患を持つ患者さんを既存のCTや心エコーなどを活用してサポートしていきたいと考えております。 |
| 社会医療法人財団慈泉会相澤健康センター | 診療所 | | | | | | ○ | | ・少子高齢化に伴う労働人口の高齢化に対応した健康維持に努めていく<br>・高齢者の健康寿命延伸を目指し、病気にならない予防活動に力を注ぐ。特に認知症や運動機能低下を防ぐための検査と予防に努める<br>・循環器系の検査を強化し、心疾患を早期に発見し、早期治療につなげる<br>・多様化する健康志向を捉え、ニーズに合った健診内容の拡充を図る<br>・併設する病院との連携を強化し、一層の早期治療につなげる<br>・生活習慣病健診の推進と効果的な保健指導により健康増進を図る<br>・質の高い検診を求めるインバウンドの受入れを積極的に行う<br>・データ活用により、病気にならない身体作り（未病・予防）に努める<br>・18床の病床を活用し、多用化するニーズ（高齢者・遠隔地・インバウンドからの受診）に応える<br>・人口の減少と少子高齢化と言う社会構造に見合った健診施設となり、人口が減少しても多くの利用者から選ばれる健診施設となる<br>・経営母体である社会医療法人慈泉会は相澤病院を核として地域の医療分野・健康増進分野・介護分野までをカバーしている。当センターが健診分野を充実することにより、必要な方へは早期に病院の治療につなげQOLを高めることができる。また利用者の健康リスクを発見し、健康相談や保健指導によって病気にならないための予防活動を行う。フレイルや老化など生活障害のリスクを抱える高齢者に対する予防は介護分野と連携して行うことができる。健診事業と予防医療により、住民が安心して暮らせるためのヘルスケアの一翼を担っていく。質が高い健診医療を行う上で現在の病床は欠かせない。 |

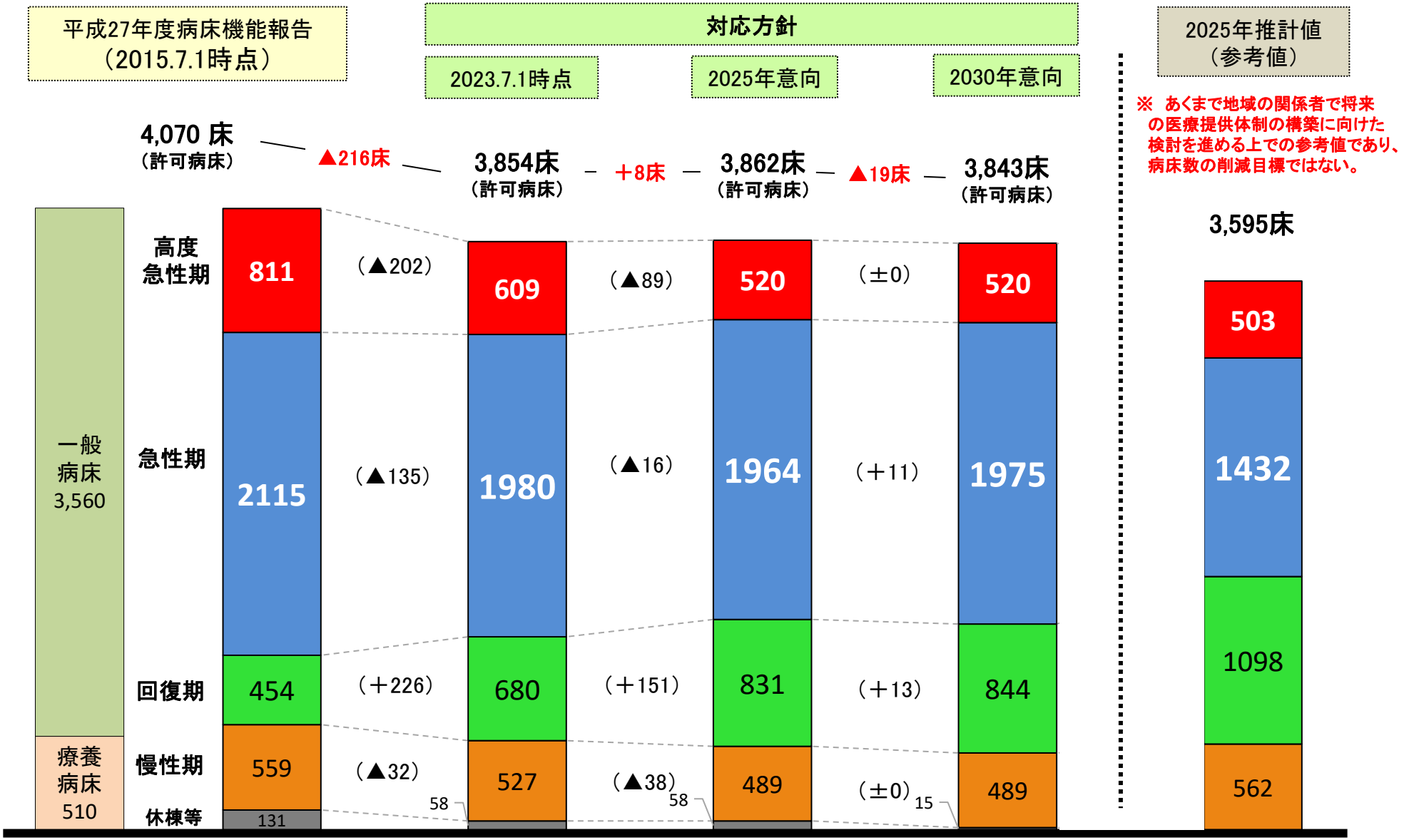
# 対応方針　ー　今後の圏域における役割の意向と具体的な今後の方針　4/4　ー　（松本医療圏）

○　各医療機関の今後の役割の意向と具体的な今後の方針は以下のとおり。

| 医療機関名 | 病診区分 | 今後の圏域における役割の意向（◎は主たる役割） | | | | | | | 具体的な今後の方針 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | ①<br>高度・専門 | ②<br>軽症急性期 | ③<br>地ケア | ④<br>回リハ | ⑤<br>長期療養 | ⑥<br>特定診療 | ⑦<br>かかりつけ | |
| 横西産婦人科 | 診療所 | | | | | | ◎ | | 引き続き分娩医療機関として中信地区の産科医療を担っていきたい |
| 松塩クリニック透析センター | 診療所 | | | | | | ◎ | ○ | 現状維持 |
| 佐藤耳鼻咽喉科医院 | 診療所 | | ○ | | | | ◎ | | 病棟縮小を検討中です。 |
| 医療法人　民蘇堂　野中眼科 | 診療所 | | | | | | ◎ | | 地域医療機関として医院での診療はもとより往診等も積極的に行なっていきたい。 |
| 高橋医院 | 診療所 | | ○ | ○ | | | | ◎ | 方針の変更はない。 |
| 山田眼科医院 | 診療所 | | | | | | ○ | | 現状維持 |
| 象先堂田村眼科医院 | 診療所 | | | | ○ | | | ◎ | 医療従事者の確保を継続しかかりつけ医として継続的に役割を果たしていく。 |
| 裏川眼科 | 診療所 | ○ | ○ | | | | ◎ | ○ | 引き続き、現状の機能を維持する。 |
| 医療法人山本耳鼻咽喉科 | 診療所 | | | | | | | ◎ | 現状維持 |

# 対応方針 － 機能別病床数の意向 －（松本医療圏）

○ 2025年の意向を集計した結果、2023年７月１日時点と比較すると、他機能から回復期への転換が進む見込み。
○ 2030年の意向を集計した結果、2025年の意向から総病床数では19床減少（急性期＋11、回復期＋13、休棟▲43）する見込みとなっている。



# 対応方針　－　機能別病床数の意向　－　（松本医療圏：医療機関別（病院））

○　2025年までに、信大病院で休棟再開及び高度急性期からの転換により急性期の増床、松本協立病院で急性期から回復期への転換等といった見込みがある。
○　2025年から2030年までの間には、松本市立病院で急性期から回復期への転換を伴う移転建替えが行われる見込み。

【凡例】 A：2023年７月１日時点の機能別病床数　B：2025年における機能別病床数の意向　C：2030年における機能別病床数の意向

| | 高度急性期 | | | | | 急性期 | | | | | 回復期 | | | | | 慢性期 | | | | | 休棟 | | | | | 介護施設等への転換 | | | | | 計 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 病院名 | A | B | C | B-A | C-B | A | B | C | B-A | C-B | A | B | C | B-A | C-B | A | B | C | B-A | C-B | A | B | C | B-A | C-B | A | B | C | B-A | C-B | A | B | C | B-A | C-B |
| 信州大学医学部附属病院 | 509 | 406 | 406 | -103 | 0 | 125 | 214 | 257 | 89 | 43 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 43 | 43 | 0 | 0 | -43 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 677 | 663 | 663 | -14 | 0 |
| 社会医療法人財団慈泉会相澤病院 | 34 | 38 | 38 | 4 | 0 | 380 | 380 | 380 | 0 | 0 | 42 | 42 | 42 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 456 | 460 | 460 | 4 | 0 |
| まつもと医療センター | 8 | 8 | 8 | 0 | 0 | 229 | 229 | 229 | 0 | 0 | 50 | 50 | 50 | 0 | 0 | 150 | 150 | 150 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 437 | 437 | 437 | 0 | 0 |
| 安曇野赤十字病院 | 8 | 8 | 8 | 0 | 0 | 263 | 263 | 263 | 0 | 0 | 45 | 45 | 45 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 316 | 316 | 316 | 0 | 0 |
| 長野県立こども病院 | 42 | 60 | 60 | 18 | 0 | 158 | 140 | 140 | -18 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 200 | 200 | 200 | 0 | 0 |
| 松本協立病院 | 8 | 0 | 0 | -8 | 0 | 132 | 91 | 91 | -41 | 0 | 59 | 108 | 108 | 49 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 199 | 199 | 199 | 0 | 0 |
| 社会医療法人抱生会丸の内病院 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 130 | 130 | 130 | 0 | 0 | 58 | 69 | 69 | 11 | 0 | 11 | 0 | 0 | -11 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 199 | 199 | 199 | 0 | 0 |
| 松本市立病院 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 111 | 111 | 79 | 0 | -32 | 82 | 82 | 95 | 0 | 13 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 193 | 193 | 174 | 0 | -19 |
| 桔梗ケ原病院 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 45 | 45 | 45 | 0 | 0 | 60 | 60 | 60 | 0 | 0 | 40 | 40 | 40 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 145 | 145 | 145 | 0 | 0 |
| 城西病院 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 99 | 99 | 99 | 0 | 0 | 30 | 30 | 30 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 129 | 129 | 129 | 0 | 0 |
| 医療法人仁雄会穂高病院 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 59 | 59 | 59 | 0 | 0 | 20 | 20 | 20 | 0 | 0 | 48 | 48 | 48 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 127 | 127 | 127 | 0 | 0 |
| 塩尻協立病院 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 42 | 0 | 0 | -42 | 0 | 0 | 42 | 42 | 42 | 0 | 57 | 57 | 57 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 99 | 99 | 99 | 0 | 0 |
| 医療法人心泉会上條記念病院 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 34 | 34 | 34 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 59 | 59 | 59 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 93 | 93 | 93 | 0 | 0 |
| 松本中川病院 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 47 | 51 | 51 | 4 | 0 | 35 | 35 | 35 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 82 | 86 | 86 | 4 | 0 |
| 一之瀬脳神経外科病院 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 47 | 47 | 47 | 0 | 0 | 30 | 30 | 30 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 77 | 77 | 77 | 0 | 0 |
| 藤森病院 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 39 | 39 | 39 | 0 | 0 | 30 | 30 | 30 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 69 | 69 | 69 | 0 | 0 |
| 医療法人元山会中村病院 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 27 | 27 | 27 | 0 | 56 | 29 | 29 | -27 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 56 | 56 | 56 | 0 | 0 |
| 社会医療法人財団慈泉会相澤東病院 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 54 | 74 | 74 | 20 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 54 | 74 | 74 | 20 | 0 |
| 塩尻病院 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 40 | 40 | 40 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 40 | 40 | 40 | 0 | 0 |
| 医療法人和心会松南病院 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 39 | 39 | 39 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 39 | 39 | 39 | 0 | 0 |
| 松本歯科大学病院 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 31 | 31 | 31 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 31 | 31 | 31 | 0 | 0 |
| **病院計** | **609** | **520** | **520** | **-89** | **0** | **1912** | **1904** | **1915** | **-8** | **11** | **664** | **813** | **826** | **149** | **13** | **490** | **452** | **452** | **-38** | **0** | **43** | **43** | **0** | **0** | **-43** | | **0** | **0** | **0** | **0** | **3718** | **3732** | **3713** | **14** | **-19** |

# 対応方針　－　機能別病床数の意向　－　（松本医療圏：医療機関別（有床診療所））

○　2025年までに、佐藤耳鼻咽喉科医院が急性期8床を2床まで削減する見込み。
○　2025年から2030年までの間は、特に機能転換等を行う有床診療所はない。

【凡例】 A：2023年７月１日時点の機能別病床数　B：2025年における機能別病床数の意向　C：2030年における機能別病床数の意向

| | 高度急性期 | | | | | 急性期 | | | | | 回復期 | | | | | 慢性期 | | | | | 休棟 | | | | | 介護施設等への転換 | | | | | 計 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 有床診療所名 | A | B | C | B-A | C-B | A | B | C | B-A | C-B | A | B | C | B-A | C-B | A | B | C | B-A | C-B | A | B | C | B-A | C-B | A | B | C | B-A | C-B | A | B | C | B-A | C-B |
| 神應透析クリニック | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 19 | 19 | 19 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 19 | 19 | 19 | 0 | 0 |
| 肛門外科渡辺医院 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 19 | 19 | 19 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 19 | 19 | 19 | 0 | 0 |
| 柏原クリニック | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 19 | 19 | 19 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 19 | 19 | 19 | 0 | 0 |
| 相澤健康センター | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 18 | 18 | 18 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 18 | 18 | 18 | 0 | 0 |
| 横西産婦人科 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 15 | 15 | 15 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 15 | 15 | 15 | 0 | 0 |
| 松塩クリニック透析センター | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 12 | 12 | 12 | 0 | 0 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 12 | 12 | 12 | 0 | 0 |
| 佐藤耳鼻咽喉科医院 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 8 | 2 | 2 | −6 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 8 | 2 | 2 | −6 | 0 |
| 野中眼科 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 8 | 8 | 8 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 8 | 8 | 8 | 0 | 0 |
| 高橋医院 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 8 | 8 | 8 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 8 | 8 | 8 | 0 | 0 |
| 山田眼科医院 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 5 | 5 | 5 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 5 | 5 | 5 | 0 | 0 |
| 象先堂田村眼科医院 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 2 | 2 | 0 | 0 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 2 | 2 | 0 | 0 |
| 裏川眼科 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | −2 | 0 | 0 | 2 | 2 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 2 | 2 | 0 | 0 |
| 山本耳鼻咽喉科 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 |
| **有床診療所計** | **0** | **0** | **0** | **0** | **0** | **68** | **60** | **60** | **−8** | **0** | **16** | **18** | **18** | **2** | **0** | **37** | **37** | **37** | **0** | **0** | **15** | **15** | **15** | **0** | **0** | **0** | **0** | **0** | **0** | **0** | **136** | **130** | **130** | **−6** | **0** |
| **総計** | **609** | **520** | **520** | **−89** | **0** | **1980** | **1964** | **1975** | **−16** | **11** | **680** | **831** | **844** | **151** | **13** | **527** | **489** | **489** | **−38** | **0** | **58** | **58** | **15** | **0** | **−43** | **0** | **0** | **0** | **0** | **0** | **3854** | **3862** | **3843** | **8** | **−19** |